

Son *jo* *do*
尊 **攘** **堂**



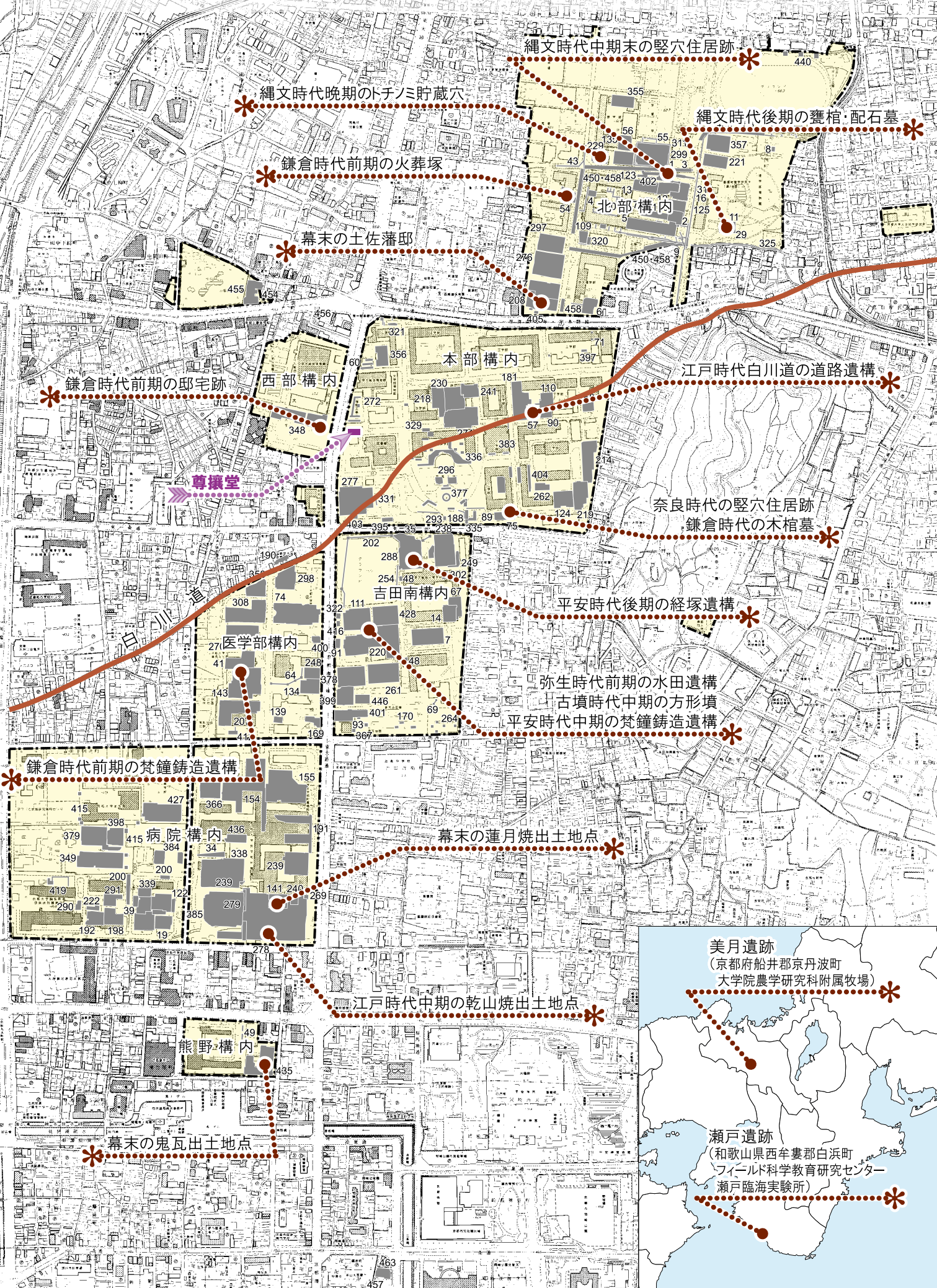
尊攘堂と呼ばれるこの建物は、明治時代の政治家、品川弥二郎（1843-1900）の遺志にもとづき、本学に寄贈された吉田松陰や尊王の志士たちの遺墨・遺品類をおさめるため、1903年（明治36）に建てられた。

外装を化粧した煉瓦造平屋建・寄棟屋根の擬洋風建築とよばれる建物である。破風付きの窓や小屋根、切妻のポーチなどの洋風要素を配している。内部は、扁平なアーチをもつ

一段高い小室が奥にひかえる左右対称平面を呈し、中央広間の天井をめぐる漆喰装飾と照明の唐草装飾とがあいまって、華やかな印象を醸し出している。

明治時代における特徴的な建築例として、1998年に国の登録有形文化財に指定されている。品川弥二郎による志士の遺墨・遺品などの寄贈資料は、現在は維新特別資料文庫として本学附属図書館に収蔵・保管されている。

京都大学構内のおもな遺跡



美月遺跡
(京都府船井郡京丹波町
大学院農学研究科附属牧場)

瀬戸遺跡
(和歌山県西牟婁郡白浜町
フィールド科学教育研究センター
瀬戸臨海実験所)

遺構 Features / Structures



竪穴住居跡
Pit-dwelling

縄文時代中期末
北部構内



配石墓
Cemetery

縄文時代後期
北部構内 (植物園内)



トチノミの貯蔵穴
Storage Pit

縄文時代晩期
北部構内



人骨
Crouched inhumation

縄文時代晩期
和歌山県瀬戸遺跡

遺物 Artifacts



磨製石斧
Ground Axes

縄文時代
吉田南構内



縄文土器・深鉢
Deep Jars

縄文時代後期
北部構内

遺構 Features / Structures



水田跡
Paddy field

弥生時代前期
吉田南構内



土石流
Debris flow

弥生時代前期末
北部構内



水田跡
Paddy field

弥生時代前期
北部構内



V字溝
Ditch with a V-shaped profile

弥生時代中期
京都府美月遺跡

遺物 Artifacts



甕と壺
Pottery assemblage

弥生時代前期
吉田南構内



磨製石鏃（左）・銅鏃（右）
Left : Ground stone arrowhead
Right : Bronze arrowhead

弥生時代
本部構内

遺構 Features / Structures



方形墳
Double-ditched burial

古墳時代中期
吉田南構内



竪穴住居跡
Pit-dwelling

奈良時代
本部構内



梵鐘鑄造遺構
Pit for casting a temple bell

平安時代中期
吉田南構内



経塚遺構
Remain of the dedicatory chamber

平安時代後期
吉田南構内

遺物 Artifacts



埴輪
Haniwa : ceramic funerary sculpture

5世紀末
吉田南構内



火舎香炉
Bronze cassiole

12世紀
病院構内

遺構 Features / Structures



火葬塚（復元）
Cremation monument

鎌倉時代前期
北部構内



梵鐘鑄造遺構
Mould for casting a temple bell

鎌倉時代前期
医学部構内



建物北側の石敷き
Pavement around the Buddhist hall

鎌倉時代前期
西部構内



つくりかえた井戸
Wells with an overlap

鎌倉～室町時代
病院構内

遺物 Artifacts



黄釉陶器鉄絵の盤
Imported stoneware

13世紀中葉
本部構内



軒丸瓦・軒平瓦
Roof-tiles

13世紀
西部構内

遺構 Features / Structures



轍の残る白川道
Shirakawa road

江戸時代
本部構内



土佐藩邸の南限を画する堀
Ditch of the Tosa garrison

幕末
北部構内

遺物 Artifacts



乾山焼
Kenzan ware

18 世紀中葉
病院構内



蓮月焼
Rengetsu ware

19 世紀中葉
病院構内



徳島藩邸比定地出土の鬼瓦ほか
Terminal roof-tiles

19 世紀中葉
熊野構内



京都帝国大学関連遺物の銘
Seals of Kyoto University on porcelain

19 ~ 20 世紀
構内各所

遺跡の保存と修景

京都大学構内での遺跡発掘は、基本的にその大半が、校舎新営等の工事に先だって実施されているが、調査の結果、歴史的資料としての重要度が高く、またキャンパス一帯の過去を象徴すると判断される遺跡については、現地あるいは移築によって保存や復元の処置をとってきた。

[保存・復元された遺跡一覧（2020年3月現在）]

〈北部構内〉

8 地点	瓦溜り（平安時代）	現地保存
11 地点	甕棺・配石墓（縄文時代後期）	移築して復元
54 地点	方形周溝墓（弥生時代中期）	現地保存し、火葬塚を復元
	火葬塚（鎌倉時代前期）	
123 地点	竪穴住居跡（縄文時代中期末）	現地保存

〈本部構内〉

75 地点	竪穴住居跡（奈良時代）	現地保存
-------	-------------	------

〈西部構内〉

348 地点	建物跡（鎌倉時代前期）	現地保存
--------	-------------	------

〈吉田南構内〉

111 地点	梵鐘鑄造遺構（平安時代中期）	現地保存
220 地点	梵鐘鑄造遺構（平安時代中期）	現地保存

〈和歌山県 フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所〉

瀬戸遺跡	製塩炉（奈良時代）	移築して復元
------	-----------	--------

京都大学大学院文学研究科附属

文化遺産学・人文知連携センター 京大文化遺産調査活用部門

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

TEL (075)753-7691 FAX (075)753-7699

<http://www.ceschi.bun.kyoto-u.ac.jp/arcKU/>